合成樹脂調合ペイント

JIS K 5516 1種
合成樹脂調合ペイント
ホルムアルデヒド放散等級 F☆☆☆

Hi·CRデラックス300G

特　長

1. JIS K 5516　1種合格　防火材料認定（認定番号NM-8585・QM-9816・RM-9364）
2. すぐれた肉持ち感を有しています。
3. 仕上がり肌が美しく、すっきりとしています。
4. 隠ぺい力（かぶり）が良く、作業がはかどります。
5. はけ塗りはもちろん、ローラー施工にも適しています。

性　能

JIS K 5516　1種合格

試験項目	規格	性能
容器の中での状態	かき混ぜたとき、堅いかたまりがなくて一様になるものとする。	合格
塗装作業性	はけ塗りで塗装作業に支障があってはならない。	合格
乾燥時間h（表面乾燥性）	16以下	6
塗膜の外観	塗膜の外観が正常であるものとする。	合格
隠ぺい率（%）	90以上（白および淡彩）	97
促進黄色度	0.20以下（白について）	0.15
鏡面光沢度（60度）	80以上	89
重ね塗り適合性	重ね塗りに支障があってはならない。	合格
加熱残分（%）	65以上	73
促進耐候性	膨れ、割れ及びはがれの等級は0であり、色とつやの変化の程度が見本品に比べて大きくないものとする。また、白及び淡彩では、白亜化の等級が1以下とする。	合格
屋外暴露耐候性	1年間の試験で、膨れ、はがれ及び割れがなく、色とつやの変化の程度が見本品に比べて大きくないものとする。また、白及び淡彩では、白亜化の等級が4以下とする。	合格
ホルムアルデヒド放散量	F☆☆☆：0.35mg/L以下	合格

用　途

一般建築物の鉄部および木部の内外部など

標準塗装仕様（新設）

●一般鉄部

工程	塗料名	塗り回数	標準塗付量 (kg/m²/回)	塗り重ね乾燥時間 (23℃)	希釈剤	希釈率(%)	塗装方法
素地調整	電動工具を主体とし、ISO St3まで除錆する。 溶接部の著しい凸部は、グラインダーで平滑にしてから電動工具で除錆する。						
下塗り	速乾シアナミドヘルゴン下塗	1	0.12~0.17	16時間以上 1ヵ月以内	塗料用シンナーA	0~5	はけ・ウールローラー
						0~10	エアレススプレー
上塗り	Hi·CRデラックス300G	2	0.12~0.15	16時間以上	塗料用シンナーA	0~10	はけ・ウールローラー
						5~10	エアレススプレー

※さびが発生しやすい溶接部などの現場接合部については、入念な下地調整後、下塗り塗料（さび止め塗料）で部分補修塗りをしてから下塗りしてください。

●一般木部

工程	塗料名	塗り回数	標準塗付量 (kg/m²/回)	塗り重ね乾燥時間 (23℃)	希釈剤	希釈率(%)	塗装方法
素地調整	木部を傷つけないように除去し、油類は溶剤等で拭き取る。やには削り取り又は、電気ゴテ焼の上、溶剤で拭き取る。P120~220研磨紙で研磨後、水拭きして研磨カスを除去する。著しいやに部はセラックニスで部分補修塗装する。穴埋めが必要な場合は、パテで穴埋めを行う。						
下塗り	Hi·CR下塗白	1	0.14~0.17	16時間以上	塗料用シンナーA	0~5	はけ・ウールローラー
上塗り	Hi·CRデラックス300G	2	0.12~0.15	16時間以上	塗料用シンナーA	0~10	はけ・ウールローラー
						5~10	エアレススプレー

注】上記の各数値は、全て標準のものです。被塗物の形状、種類、素地の状態、気象条件、施工条件などにより増減しますので、あらかじめ試し塗りをして確認してください。
注】記載された塗料以外の適用については、最寄りの販売会社にお問い合わせください。

Basic & New
NIPPON PAINT

Hi·CRデラックス300G

容　量

Hi・CRデラックス300G白および各色……16kg
調色原色は「Hi・CRマリンG原色」をご使用ください。

注意事項(詳細な内容については、各商品の製品使用説明書などでご確認ください)

- つや調整品を使用する場合は上塗り1(中塗り)に「つや有り」をご使用ください。つや調整品を2回塗りしますと、つやむらが生じることがあります。
- ごみ・ほこり・砂・油・樹液などは、塗装前に水洗い、溶剤拭きなどで十分に除去し、乾燥した清浄な面にしてください。釘頭は、ニッペ1液ハイポンファインデクロを塗装してください。釘頭が発さびしている場合は、研磨紙などでさびを除去し、ニッペ1液ハイポンファインデクロを塗装してください。傷、穴は、下塗り塗装前にポリパテで穴埋めし、乾燥後研磨紙(P240～P320)で研磨、ウエスで拭き取り清浄な状態にしてください。新木の場合の乾燥程度は含水率15%以下としてください。下塗り塗装後、仕上がり向上の目的で研磨を行う場合は、乾燥後研磨紙(P240～P320)で研磨、ウエスで拭き取り清浄な状態にしてください。節止めにはラックニスなどを使用してください。
- 新木の場合の乾燥程度は、含水率15%以下としてください。また節止めには必ずラックニスを塗装してください。
- つや消し、及びつや調整品は、塗り継ぎや補修でつやむらが出やすいので、面を切って通しで塗装してください。
- 過剰希釈をすると本来のつやが発現しないおそれがありますので、規定の希釈量を守ってください。
- つや消し塗料は、つや消し剤が沈降している場合がありますので、かくはん機を用いて缶底の沈降物を十分にかくはんし、均一な状態でご使用ください。
- つや調整品は被塗物の形状、素地の状態、膜厚、色相、塗り重ね乾燥時間などにより、実際のつやと若干違って見える場合がありますので、塗り板見本を参考に試し塗りをしてください。
- つや調製品は、塗料液が分離しやすいので、よくかくはんしながらご使用ください。·
- 溶剤系塗料のため、室内での塗装は必ず換気をしてください。また、外部での塗装においても、換気口·空気取入口などに養生を行い、溶剤蒸気が室内に入らないように注意してください。居住者へのご配慮をお願い致します。
- 所定のシンナー以外を使用したり、薄めすぎるとつや引けやかぶり不良をきたすことがあります。
- カウンター、陳列棚、ベンチ、床面など物が常時置かれるような場所には塗装しないでください。油脂分(人の手油などを含む)やアルコールなどがつくと、塗膜が軟化して色移りする場合があります。
- 室内の暗所では塗装後に黄変する場合があります。
- 結露の著しい個所では、JIS K 5629(鉛酸カルシウムさび止め)の上には、塗装を避けてください。
- 長期の耐久性が必要な場合は、ファインウレタンU-100をご使用ください。
- コンクリート·モルタル等のアルカリ性素材への塗装は避けてください。
- 旧塗膜に発生した藻·かびは、洗浄などで必ず除去し、清浄な面としてください。付着阻害をおこすおそれがあります。
- 内部塗替えにおいて旧塗膜がOP、FEなどの油性系の場合、研磨ずりを行ってください。下地処理が不十分な場合は、塗膜はく離の原因となります。
- 既存塗膜のはく離個所は、既存塗膜の塗装仕様でパターン合わせを行なってください。
- 改修工事にご使用の場合は、旧塗膜の種類によっては溶剤などの影響により、旧塗膜を侵し溶剤膨れや縮みなどの異常が発生する場合がありますので、旧塗膜の種類をご確認の上、塗装仕様をご検討ください。
- シーリングの上に、劣化、ひび割れなどの損傷がある場合は、打ち直しをしてください。
- 素地の乾燥は十分に行ってください。
- 塗装場所の気温が5℃以下、湿度85%以上である場合、または換気が十分でなく結露が考えられる場合、塗装は避けてください。
- 屋外の塗装で降雨、降雪のおそれがある場合、および強風時は塗装を避けてください。
- 塗装時および塗装後に密閉しますと乾燥が遅れますので、換気を十分に行ってください。
- 塗装時および塗料の取り扱い時は、換気を十分に行ない、火気厳禁にしてください。
- 飛散防止のため必ず養生を行ってください。
- 笠木、天端など長時間水が滞留する個所では塗膜の白化、膨れなどが発生する場合がありますので、養生シートの設置方法などに配慮し、換気を促してください。
- 塗料は内容物が均一になるようにかくはんしてください。薄めすぎは隠ぺい力不足、仕上がり不良などが起こるため規定範囲を超えて希釈しないでください。
- 濃彩色や冴えた原色の場合、塗膜を強く擦ると色落ちすることがあります。衣類など接触する可能性のある部位には使用しないでください。なお、状況により常時接触するような個所に使用する場合は、ファインシリコンフレッシュクリヤーを上塗りに塗装してください。
- はけ塗り仕上げとローラー仕上げが混在する場合、塗付量、表面肌が異なるため若干の色相差がでますので、はけ塗りの部分は希釈を少なくして塗装してください。
- 塗装方法により色相が多少変化する場合がありますので、ローラー塗りは出来る限り入り隅まで入れてください。
- 汚れ、傷などにより補修塗りが必要な場合があります。使用塗料のロットは必ず控えておき、補修の際は塗料ロット、希釈率、および補修方法等の塗装条件を同一にしてください。
- 使用前に内容物が均等になるようにかくはんし、開封後は一度に使い切ってください。やむを得ず保管する場合は密栓してから冷暗所で保存し、速やかに使い切ってください。
- 開缶後は皮張りがしやすいため、表面にうすく希釈剤を張り、ふたをしておくと、皮張りを遅くすることができます。
- 塗料が付着した可燃物(ウエス、ダンボールなど)や塗料カス、スプレーダスト等は自然発火のおそれがあります。速やかに焼却処分するか、容器に入った水に浸して処理してください。

安全衛生上の注意事項　(Hi・CR デラックス 300G 白)

- 本来の用途以外に使用しないでください。
- 使用前に取扱説明書を理解して、取り扱ってください。
- 熱／火花／炎／高温のもののような着火源から遠ざけてください。ー禁煙です。
- 容器を密閉してください。
- 容器および受器を接地してください。
- 防爆型の電気機器／換気装置／照明機器を使用してください。
- 火花を発生しない工具を使用してください。
- 粉じん／ガス／蒸気／スプレー等を吸入しないでください。
- 必要な時以外は、環境への放出を避けてください。
- この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないでください。
- 汚染された作業衣は密封袋に入れて作業場から出してください。
- 取扱い後は、手洗いおよびうがいを十分に行ってください。
- 適切な保護手袋／保護眼鏡／保護面／保護衣を着用してください。
- 必要に応じて個人用保護具を使用してください。
- 飲み込んだ場合：気分が悪い時は、医師に連絡してください。口をすすいでください。
- 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗ってください。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外してください。その後も洗浄を続けてください。
- 眼の刺激が続く場合は、医師の診断／手当てを受けてください。
- 皮膚や髪に付いた場合、直ちに、汚染された衣類をすべて脱ぎ取り除いてください。皮膚を流水かシャワーで洗ってください。
- 皮膚に付いた場合、多量の水と石鹸で洗ってください。
- 取り扱った後、手を洗ってください。
- 皮膚刺激または発疹が生じた場合は、医師の診断／手当てを受けてください。
- 直ちに、すべての汚染された衣類を脱いでください／取り除いてください。再使用する場合には洗濯してください。
- 粉じん、蒸気、ガス等を吸い込んで気分が悪くなった時には、安静にし、必要に応じてできるだけ医師の診察を受けてください。
- 暴露した時、気分が悪いなどの症状がある場合は、医師に連絡してください。
- 緊急の洗浄剤が必要な場合、直ちに特別処置を実施する。
- 火災時には、炭酸ガス、泡または粉末消火器を用いてください。
- 水を消火に使用しない。
- 容器からこぼれた時には、布で拭き取って水を張った容器に保管してください。
- 施錠して子供の手の届かないところに保管してください。
- 直射日光や水濡れは厳禁です。
- 積み重ねは3段までとしてください。
- 日光から遮断し、換気の良い場所で保管してください。輸送中も50℃以上の温度に暴露しないでください。
- 内容物／容器を廃棄する時には、国／地方自治体の規則に従って産業廃棄物として廃棄してください。
- 塗料が付着した可燃物(ウエス、ダンボール等)や塗料カス、スプレーダスト等は自然発火のおそれがあります。速やかに焼却処分するか、容器に入った水に浸して処理ください。
- 塗料、塗料容器、塗装具を廃棄する時には、産業廃棄物として処理してください。
- 容器、塗装具などを洗浄した排水は、そのまま地面や排水溝に流すと環境に悪影響を及ぼすおそれがありますので、排水処理場などの施設に持ち込むか、産業廃棄物処理業者に処理を依頼してください。

※上記の表示は一例です。色相などにより、容器の表示とは異なる場合があります。
□詳細な内容、表示例以外の商品については、製品安全データシート(MSDS)をご参照ください。
□本商品は日本国内での使用に限定し、輸出される場合は事前にご相談ください。

危　険	危険有害性情報
	引火性液体および蒸気／皮膚刺激／強い眼刺激／アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ／発がんのおそれの疑い／生殖能力または胎児への悪影響のおそれ／臓器の障害(単回暴露)／長期にわたるまたは反復暴露による臓器の障害／水生生物に毒性(急性)／長期的影響により水生生物に毒性

●「本カタログ中の商品名·会社名は、日本ペイント株式会社·その他の会社の、日本およびその他の国の登録商標または商標です。」
●「©Copyright2006 NIPPON PAINT Co.,Ltd All right reserved.」
●本カタログの内容については予告なしに変更する場合がございますのであらかじめご了承ください。

日本ペイント株式会社

お客さまセンター
☎03-3740-1120
☎06-6455-9113

http://www.nipponpaint.co.jp/

●ISO14001を全事業所で認証取得。　●このカタログは、再生紙を使用しています。

地球と語ろう
ECO Action 21

カタログNo.
NP-L159
NB080103T
2008年1月現在